

石岡みらい創造プロジェクト



少子化，高齢化とともに，人口減少が進むなか，住んでみたいまち，住み続けたいまちであるために「人口減少に歯止めをかける施策」と「人口減少・高齢化社会に対応するための施策」の2つの施策をバランスよく実行していく必要があります。

前者の施策では，出生数の増加や人口の社会減の抑制のため，結婚・子育てがしやすい環境づくりや就労機会の充実を目指します。

後者の施策では，公共施設の適正配置や持続可能な公共交通機関など，コンパクトな都市構造への転換が求められていることから，安全・安心，そして快適に生活できる環境づくりを図ります。さらに，高齢化が進むなか，健康で生涯にわたり現役で暮らせる環境づくりを推進します。

また，ふるさと石岡を未来に引き継ぎ，誇りを持って「石岡が大好き」と言える魅力的なまちづくりのため，地域資源の魅力の向上と情報発信を積極的に実施します。さらに，地域の素材を利用した石岡ならではの教育を進め，未来の担い手育成に努めます。

み
ら
い
創
造

（人口減少対策・協働・行財政改革）
共通テーマ

結婚・子育て応援プロジェクト

教育改革プロジェクト

雇用・産業充実プロジェクト

魅力アップ観光交流プロジェクト

安全・安心・快適生活プロジェクト

生涯現役・健康プロジェクト

結婚・子育て応援プロジェクト

特徴と取り組み

人口減少に歯止めをかけるため、出生率の向上が課題となっており、安心して結婚・子育てをすることができる環境の充実が必要となっています。

少子化と多様化する子育て需要に対し、安心して子どもを生み育てやすい環境を整え、子育て世代に魅力的なまちづくりを目指します。



子育て世代包括支援センター
(平成29年7月設置)

実施事業

◇統合保育所の整備【新規】 14,510 千円

市立第1，第2保育所を統合し，新たに発達障がい児支援の相談窓口としての拠点機能を合わせ持つ保育所の整備を実施し，保育環境の向上を図ります。平成30年度は，実施設計を行い，平成32年度の開設を目指します。

◇発達支援研修事業【新規】 373 千円

発達が気になる子どもの保育や保護者への支援について，専門家からのアドバイスを受け，発達支援の専門性を高めます。

◇いばらき出会いサポートセンター登録補助金【新規】 100 千円

結婚を希望する石岡市民がいばらき出会いサポートセンターに登録する費用を助成し，結婚しやすい環境づくりを図ります。

◇妊婦歯科健康診査【新規】 1,292 千円

妊娠中に歯科健康診査を実施することにより，妊婦自身の口腔内の確認とともに，今後の乳幼児の口腔衛生意識の向上を図ります。

◇産婦健康診査【新規】 5,300 千円

産婦健康診査の費用を助成することにより，産後の初期段階における母子に対する支援を強化し，妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援体制を整備します。

◇産後ケア事業【新規】 550千円

母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに，母親自身がセルフケア能力を育み，母子とその家族が健やかな育児が支援できるよう助産師等の看護職が支援します。

教育改革プロジェクト

特徴と取り組み

石岡市には、豊かな自然、歴史があり、地域の素材を利用した、市ならではの教育を推進することのできる環境があります。

児童・生徒が健やかに育ち、豊かな心と生きる力、確かな学力を身につけられるよう未来の担い手育成に努めます。

また、地域と連携し、児童・生徒がいきいきと学べる創意と活力に満ちた学校づくりに取り組みます。



ふるさと学習の推進
(外部講師による講演)

実施事業

◇石岡市ふるさと学習サミットの開催【新規】 50 千円

ふるさと学習の成果発表を行い、児童・生徒の郷土愛を醸成することで、社会とのつながりを築き、自分の生き方に活かすことを目的とし、石岡市ふるさと学習サミットを開催します。

◇ICT環境整備事業【拡充】 12,180 千円

子どもたちの学習環境を充実させ、学力の向上を図るため、中学校にタブレット、小学校に大型ディスプレイを順次設置し、ICT教育を計画的に推進します。あわせて、デジタル教科書の導入を進めます。

◇学校施設個別施設計画の策定【新規】 6,600千円

学校の実情に即した実効性のある個別施設計画の策定をすることで、児童・生徒の学習環境の効率的な維持を図ります。平成30年度には、学校施設の老朽化状況の把握等の計画策定に必要な基礎調査を実施し、平成31年度には、小中学校の適正規模・適正配置等を踏まえた計画の策定を目指します。

◇放課後児童健全育成事業【新規】 47,466千円

放課後児童健全育成事業を新たに施設を整備して実施する民間事業者に対し、施設の建設に伴う費用の一部を補助し、児童の健全な育成を図ります。

◇家庭教育推進事業【新規】 2,620千円

全ての教育の出発点として重要となる家庭教育の充実のため、また、複雑化する家庭教育についての課題解決のため、家庭教育力向上推進委員会の設置や訪問型家庭教育の実施をします。

雇用・産業充実プロジェクト

特徴と取り組み

働く世代の転出抑制，転入促進のため，雇用の創出を図ることが必要となっています。

そのため，市の強みを生かし，農業の振興や，企業の誘致など，産業の振興を図ります。

市内の就業機会の充実を図り，働く世代に魅力的なまちづくりに取り組みます。



鳥獣被害総合対策（罾の設置）

実施事業

◇鳥獣被害総合対策【**拡充**】 16,523 千円

近年，深刻化している鳥獣被害の抑制を図るため，これまでの捕獲対策に加え，地域一体となった対策を推進するため，地域での勉強会・研修会等を実施し，侵入防止策や環境整備を地域ぐるみで考え，効果的な被害防止を図ります。また，狩猟免許の取得を支援し，捕獲従事者の確保を図ります。

◇雇用創出拠点整備促進調査経費【**新規**】 1,000 千円

コワーキングスペースやサテライトオフィスに対する需要・動向調査を実施し，市内の新しい働き方の創出をめざし，雇用の拡充を図ります。

◇企業誘致可能性調査【**継続**】 2,845 千円

企業を誘致するにあたり，主である工業用地に受け皿が無くなってきたことから，立地可能性のある土地の調査を行い，それぞれの土地の強み・弱み等を精査し，新たな企業の立地誘導を図っていきます。

◇農力アップ推進事業【**継続**】 1,775 千円

果樹・園芸産地，直売所の魅力アップを図るため，新品種や人気品種，新しい栽培技術の実証等を行い，生産・販売の向上，市の知名度アップに取り組みます。

また，新たな特産品となる高品質果樹のPRや，加工品づくりなどの6次産業化の取り組みを支援し農業従事者の所得の向上を図ります。

◇創業支援の充実，企業誘致の推進【**新規**】

市内の各商工団体や市内金融機関等と連携し，創業希望者の抱える様々なニーズや各ステージに応じたサポートを各機関の強みを活かし，適切な創業を支援します。

また，地域未来投資促進法に基づく基本計画の策定により，工場敷地内の「緑地面積率の緩和」や「固定資産税の課税免除」を実施し，企業誘致の推進を図ります。

魅力アップ観光交流プロジェクト

特徴と取り組み

石岡市は、豊かな自然や歴史・文化などの様々な地域資源が多くあります。

これらの地域資源の魅力の向上を図るとともに、市内外に情報発信をすることで、交流人口の更なる増加を図るとともに、首都圏のなかでも個性輝く魅力的なまちづくりに取り組みます。



自転車によるまちづくり

実施事業

◇りんりんタウン構想の策定と推進【新規】 5,900千円

交流人口の拡大や災害に強く利便性の高い交通手段など、自転車を活用したまちづくりを推進するため、りんりんタウン構想の策定をします。また、市内の自転車環境の向上のため、サイクルラックの整備を実施します。

◇ステーションパーク活用事業【新規】 64,105 千円

ステーションパーク1Fに店舗ブース（飲食、休憩施設等）を設置し、駅利用者の利便性向上及び中心市街地への誘客を図ります。

◇（仮称）里の駅立地可能性調査【新規】 1,370 千円

地域の特性を感じることのできる交流拠点として、道の駅的な機能を持つ施設の設置について、可能性調査を実施し、整備の検討を行います。

◇石岡のおまつり魅力アップ【拡充】 47,525 千円

石岡のおまつりの新たな魅力の創出として、山車を活用した体験型イベントPRの実施やおもてなしの強化を図ることで、交流人口60万人を目指します。また、歴史的背景の調査を行い、更なる認知度の向上を図ります。

◇通勤通学者支援事業【拡充】 16,022千円

通勤通学特急券購入費補助制度について、大学生等の定期券購入費に対する補助を新たに加え、制度の拡充をすることにより、市の交通利便性を高め、魅力の向上を図ります。

特徴と取り組み

日常における安全への備えが重要だと強く認識されています。市内全域での防災行政無線の運用を開始し、災害に対する備えの充実に努めてきました。さらに、安心して暮らせる環境を整えるため、防災や防犯に関する取り組みを推進します。

また、市民生活の向上や産業の振興に欠かせない都市基盤の充実を図り、快適で活力のある都市づくりをすすめます。



地域防災訓練の様子

実施事業

◇災害に強い庁舎の整備【継続】 2,631,658千円

防災拠点としての機能や、より良い市民サービスの提供と効率的な行政運営ができる新庁舎建設をすすめ、平成31年1月の供用開始を目指します。

◇上曽トンネルの整備【新規】 50,000千円

上曽トンネルの整備をすすめ、交通の安全性の向上や地域間の交流促進をすることで、新たな連携を通じた地域活性化を図ります。

◇洪水ハザードマップの更新【新規】 9,900千円

平成29年度に県は恋瀬川下流を水位情報周知河川として指定しました。公表された浸水想定区域図に対応した洪水ハザードマップの更新を行い、広く周知することで、市民の防災意識と安全性の向上を図ります。

◇河川監視カメラの設置【新規】 527千円

近年見られるゲリラ豪雨等による災害に対し、迅速できめ細やかな対応が求められています。河川監視カメラを恋瀬川に設置し、防災体制の充実と市民の安全・安心を図ります。

◇特定空家等解体費用補助金【新規】 900千円

老朽化等により地域住民の生活環境の保全に深刻な影響を及ぼしている空家等の解体を促進するため、その解体費用の一部に対し補助金を交付します。

◇空家バンク活用促進助成金【新規】 250千円

平成30年度から運用を予定している空家バンクを通して、空家の売買が成立した場合、購入者に対して、不動産仲介手数料に係る金額の一部を交付することで、空家の活用促進を図ります。

生涯現役・健康プロジェクト

特徴と取り組み

長寿社会の到来によって高齢者の人口比率は増加し続けています。人生の中で培ってきた豊かな知識や経験を、地域社会の活性化につなげていく視点が重要となり、生涯にわたり現役で暮らせるまちづくりを目指します。

また、2019茨城国体や東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興を図り、誰もが健康で生活できる環境づくりをすすめます。



柏原サッカー公園
(少年サッカー教室)

実施事業

◇柏原サッカー場人工芝の整備【新規】 2,366 千円

柏原サッカー場の人工芝の整備を実施し、市民がスポーツに親しみやすい環境を整え、スポーツを通じた青少年の健全育成と健康の増進を図ります。

平成30年度に実施設計を行い、平成31年度の整備を目指します。

◇いしおか健康応援プランの策定【新規】 3,560 千円

健康に対する関心があまりない層への働きかけを積極的に行い、健康をキーワードとしたまちづくりを目指します。(仮称)長生きイキイキ条例の制定など、効果的な取り組みを進めます。

◇石岡地域市民医療懇談会の開催【新規】 249 千円

石岡市、小美玉市、かすみがうら市で連携し、石岡地域のこれからの医療のありかたを検討します。

◇がん検診等推進事業【新規】 3,571 千円

健康を過信することなく、いつまでも元気でいられるために、がん検診を受けやすい環境づくりを図ります。平成30年度より、新たに胃がんリスク検診を実施し、市民の健康増進を図ります。

◇国体開催準備事業【新規】 103,254千円

平成31年に開催する「いきいき茨城ゆめ国体」に向けて、開催競技の周知広報を行い、気運の醸成を図るとともに、競技団体等と協力し準備を進めます。

また、茨城国体バドミントン競技会のリハーサル大会として、「バドミントン日本リーグ2018石岡大会」を開催します。

また、国体の開催を見据えた石岡運動公園の改修を行います。

共通テーマ

人口減少対策

少子高齢化社会に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への一極集中を是正し、それぞれの地域で「まち」「ひと」「しごと」を創生し、住みよい環境を確保することで将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少・少子化対策を実施していきます。

◇立地適正化計画及び地域公共交通網形成計画の策定

居住や都市の生活を支える機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと地域交通の再編との連携による「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりについて検討を進め、人口減少社会における持続可能な公共交通と効率的なまちづくりを進めます。

協働のまちづくり

石岡市を住んでみたいまち、住んでよかったまちにするため、まちづくりの主人公である市民一人ひとりが考え行動するとともに、地域の特性や魅力を生かし、より良い地域社会を実現させることが重要です。

平成26年度に制定した「石岡市協働のまちづくり条例」に基づき、市民、地域コミュニティ、市民公益活動団体、事業者及び市がそれぞれの役割を分担し、連携、協力することで、より良い地域社会の実現を目指します。

◇協働まちづくり推進事業

少子化と高齢化が更に進む社会にあっては、現状や課題を認識し、市民の共通理解のもとで、行政の役割に加え、地域での支え合いが加わって大きな力を生み出す必要があります。そのため、地域コミュニティの育成や市民の皆様がまちづくりに参加しやすい環境づくりを進めます。

行財政改革の推進

少子高齢化・人口減少社会の到来など、市を取り巻く環境は大きく変化しており、社会保障負担の増加及び市税収入の減少等の課題が生じています。また、公共サービスへの需要は高度化・多様化しています。

このような変化のなか、市民に期待される行政サービスを実施し「石岡みらい創造プラン」を実現するため、行財政改革の推進に取り組んでいきます。

◇公共施設等総合管理計画の推進

公共施設等総合管理計画の推進を図るため、個別施設計画の作成に取り組み、市民の皆様と情報を共有し、ともに考えながら、適切な進行管理を行っていきます。